

1 募集テーマ

清須市人口ビジョン及び清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

2 実施期間

平成 28 年 1 月 21 日（木）～2 月 19 日（金）

3 意見一覧（全 13 件）

	意見の概要	市の考え方
1	<p>基本目標 2 と 3 への具体的な施策として、小学校・中学校を核とした活動を取り入れてはどうか。現在、星の宮小学校においては、子ども会、PTA による従来からの活動のみである。</p> <p>阿原地区には、コミュニティ組織があり、年間多くの事業を手がけているが、特に小学校に対する支援状況が不足していると感じられる。また、阿原地区の敬老会約 400 名の対象者の内、催しには約 180 名が出席している。各ボランティア団体も 10 以上ある。この元気な方々による取り組みとして、地域コミュニティ（シニア層）の活躍の場を創造する取り組み（「星の宮小学校へいこう（仮称）」）を清須市の総合戦略に取り入れていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘の点も踏まえ、総合戦略の基本目標③の施策①「シニア世代の社会参加の促進」に向けて、地域全体で学校教育を支援する「学校支援地域本部」へのシニア世代の参加促進についても、総合戦略へ位置付けて取り組んでまいります</li> </ul>
2	<p>観光アクセスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集客力の高い観光施設のモデルコースを設定するということが、あしがる観光を運行することも考えたらどうか。</li> <li>観光施設には、おみやげ、飲食が出来る場がないため、観光客も通過するのみとなる。清洲城の県道の入口からの駐車場に歴史館、おみやげ店、飲食店を市内から募集してお客様に長時間滞在してもらうことにより、消費も増加し、市としても喜ばしいのではないかと。</li> </ul> <p>子育てしやすいまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市立病院がないため、市内に医療特区を定め、個人開業医が独立できるようにして、子どもたちの医療の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合戦略の基本目標①「地域資源とシビックプライドを核として活力あるまちをつくる」及び基本目標②「若い世代が子育てしやすいまちをつくる」の実現に向けて、御指摘の点も参考にさせていただきながら、今後、総合戦略の推進を図ってまいります。</li> <li>なお、費用対効果なども考慮の上、まずは「きよすあしがるバス」を活用して、「1 日乗車券」の導入とあわせて、本市が有する地域資源や集客力の高い観光施設を巡るモデルコースを設定し、積極的な周知を図ることで、あしがるバスの観光アクセス手段としての利用についても、促進を図ってまいります。</li> </ul>
3	<p>生涯学習の充実（中高年向けの英語）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学から高校（大学）6 年間（又は 10 年間）、英語教育の偏重で「話す」「聞く」が不足している。「日常生活会話」、「海外旅行会話」初級～中級教室を開催する。</li> <li>英米文学を題材として集中講義（1 年間：月 2 回程度）を実施したらどうか。題材例『小鹿物語』、『ライ麦畑でつかまえて』。（高校卒業程度の学力を有していれば、理解できる。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合戦略の基本目標③の施策①「シニア世代の社会参加の促進」においては、シニア世代の社会参加の促進や活動意欲の醸成を図るため、生涯学習講座のメニューの充実に努めることとしており、御指摘の点につきましても、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
4	<p>基本的な考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の暮らしを基本に検討すべき。</li> <li>非正規、低賃金で結婚に躊躇する若者や、子育てに追われ、長時間労働でシビックプライドどころではない勤労者、年金が少なく収入を求めざるを得ない高齢者や、老老介護で疲弊する高齢世帯も相当いるはず。</li> </ul> <p>人口ビジョンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住み続け、働き続けられるような行政の支援強化を。（小規模保育事業はすごい。リニアは不要。）</li> </ul> <p>総合戦略について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステムは、清須市は全市で 1 箇所。法律のとおり中学校区ごとに 1 箇所作るべき。</li> <li>シルバー人材センターは、本気度が問われる。会員も様々だと思いが、時給は最低賃金以下の 700 円がまかり通っており、改善すべき。</li> <li>安全・安心なまちづくりは当然。東海豪雨を教訓に河川対策強化が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の暮らしの安心を確保する各種福祉施策は、地域の活力を高めていく上での基盤となるものであり、引き続き、清須市第 1 次総合計画〔改訂版〕で掲げる「健康で思いやりのあふれるまちづくり」を進めてまいります。</li> </ul>

	意見の概要	市の考え方
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>合併してから介護相談できる場所が総合福祉センター内の地域包括支援センター1箇所しかないが、中学校区ごとに1箇所作ってほしい。</li> <li>介護保険の抑制のためには、健康寿命を長くすることだが、元気で出かけられる場所を字ごとに充実させる。</li> <li>車に乗れない高齢者が生鮮食料品を買う店がなく、困っている。キュート清須や一休庵などの充実ができないか。</li> <li>乳幼児の遊ぶ会など日にち指定でなく、健康・食事の相談等ができるよう常設にしてみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合戦略の基本目標②「若い世代が子育てしやすいまちをつくる」及び基本目標③「シニア世代が元気でアクティブに暮らせるまちをつくる」の実現に向けて、御指摘の点も参考にさせていただきながら、今後、総合戦略の推進を図ってまいります。</li> </ul>
6	<p>清須市は清洲城をはじめ古い町並みや、宮重大根や土田カボチャなど地域特産品もあるが、名古屋のベッタタウンとして、若い人にとって住みやすい街になることが、今後の発展につながると思う。若い方が住みやすい街（子育てをしやすい街）になれば、住民税の増加にもつながり、将来を担う子供たちが成長すれば、もっと大きな力になる。</p> <p>提案① 清須市にも一宮市のような保健師、栄養士、保育士等の専門職が常駐する、常設の子育て支援室があるとよい。子どもを大切にしたい市になれば、若い人の増加につながると思う。</p> <p>提案② 私が住む地域は、買い物に不便で困っており、高齢で車の運転ができなくなると、とても不安。「キュートきよす」ができたが、開業したころに比べると客足も少なくなっているように感じる。結局のところ内容が間に合っていないと思われるので、市の指導により、食品店としての内容の充実をお願いしたい。高齢者にもやさしい街づくりを進めることが重要と考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合戦略の基本目標②「若い世代が子育てしやすいまちをつくる」及び基本目標③「シニア世代が元気でアクティブに暮らせるまちをつくる」の実現に向けて、御指摘の点も参考にさせていただきながら、今後、総合戦略の推進を図ってまいります。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋市の「敬老パス」に相当する制度を作ってほしい。</li> <li>新清洲駅に「敬老無料自転車駐輪場」を作ってほしい。</li> </ul> <p>私たちは名古屋の文化・経済圏で暮らしており、名古屋とは切っても切れない生活をしている。規模の大きな文化的活動や買い物のほか、症状の重い病気の時には名古屋の大病院が頼りであり、これらは清須市内では不可能。総合戦略では、地域の日常のことが述べられているだけであり、様々な楽しみ、夢、高度医療などを満たすには名古屋へ出て行く必要があり、そのために交通費がかかる。そこで、上記2点を要望する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市では、「高齢者や主婦層などの日中の市内移動の利便性を高めるため」に、あしがるバスを一律100円という運賃で運行しており、引き続き、その利便性の向上に努めてまいります。</li> <li>なお、自転車等駐輪場につきましては、自転車等の放置防止や通行機能・安全保持などの観点から、「自転車等駐車対策基本方針」に基づき、順次、有料化を進めているところでありますので、御理解と御協力のほど、お願い申し上げます。</li> </ul>
8	<p>基本目標1の施策①「清洲城の更なる盛り上げ」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>清洲城の展示を拝見した。多くの市民や観光客も興味を持つ内容となっており、関係者の努力に感心した。展示内容が時々更新されることを予告すれば、更にリピーターを呼び込むことができそう。</li> <li>戦国武将の故郷、清須には、清洲城だけでなく、桶狭間への道、今川塚、総見院の焼け兜、寧々ゆかりの浅野長勝宅跡、寧々の生誕地・朝日、秀吉、利家、まつが住んだこと等、多くの史跡開発ができると思われる。清洲城に象徴される戦国の歴史は、幅広く盛り上げることが大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合戦略の基本目標①「地域資源とシビックプライドを核として活力あるまちをつくる」の実現に向けた施策を展開する上で、本市の地域資源を代表する清洲城の活用は欠かすことができないものと考えており、御指摘の点も参考にさせていただきながら、今後、総合戦略の推進を図ってまいります。</li> </ul>

	意見の概要	市の考え方
9	<p>若年層と老年層のどちらも支援していただくの財力があればよいが、難しいと思う。乱暴かもしれないが、どちらかに絞って支援していくしかないと思う。そのための決断を早急にして、一歩ずつ前進していくより他ないのではないか。</p> <p>リニア新幹線開業により、東京への流出は十分考えられる。しかし、逆に東京から愛知に流入するチャンスと捉え、東京にはない愛知のよさを大いに発信し、多少なりとも東京から人が来てくれれば、それがきっかけで定住ということにつながる。愛知の魅力を市民が知恵を出し合って呼びかければ、県や市がより活性化する。</p> <p>今やITで企業や人がつながる時代。東京から離れていても東京にいるかのように、地方と都会がつながることができる。大手上場企業の誘致、工場や大学などの移転などでは、生活費が東京より安いなど愛知ならではのメリットがある。</p> <p>あれもこれもと欲張るだけの多角的戦略思考はやめにして、何か一つだけに絞って、それを推進していく方がよい気がする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合戦略においては、本市においても進展する少子高齢化への積極的な対応として、若い世代とシニア世代へ焦点を当て、それぞれの世代が有する活力を地域全体の活力の向上につなげていきたいと考えております。なお、数値目標とKPIに基づく検証と改善の仕組みを通じて、総合戦略の実効性をしっかりと担保してまいりたいと考えております。</li> </ul>
10	<p>市内の人口があまり増加していない中で、当市行政の生ぬるさを感じることもある。</p> <p>市になってから、合併前の成り行き任せで、何も変化がなく、活力もなく、かえって住みにくくなっていく感じもする。市内の「ひと」と「しごと」について、戦略的に考えるならば、現状を整理し、足元を固めて進めてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回、人口ビジョンにおいては、現状分析や課題の整理に基づき、今後の目指すべき将来の方向と人口の将来展望をお示ししております。その実現に向けて、総合戦略においては、今後、4か年の目標や具体的な施策をまとめたところであり、地域の活力向上に向けて、しっかりと取組を進めてまいります。</li> </ul>
11	<p>ひとり親世帯に対する職員の偏見と押し付けが無くならなければ、真の子育て支援はできない。戦略には具体的なビジョンもなく、最も活かしたい資源が見当たらない。創業支援も結構だが、何の分野を重点的にするかさえ書かれていない。この程度の戦略は、分析費用が税の無駄にしかみえない。</p> <p>体質を変える気がなければ、総合戦略を作成する必要もないし、消滅自治体になれば良いだけ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回、人口ビジョンにおいては、現状分析や課題の整理に基づき、今後の目指すべき将来の方向と人口の将来展望をお示ししております。その実現に向けて、総合戦略においては、今後、4か年の目標や具体的な施策をまとめたところであり、地域の活力向上に向けて、しっかりと取組を進めてまいります。</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園の入園について、生後3箇月からの入園が可能な保育園を増やしてほしい。</li> <li>風疹ワクチン接種の補助を母親だけではなく、父親にも広げてほしい。</li> <li>予防接種の勉強会をパパママ教室に加えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合戦略の基本目標②「若い世代が子育てしやすいまちをつくる」の実現に向けて、御指摘の点も参考にさせていただきながら、今後、総合戦略の推進を図ってまいります。</li> </ul>
13	<p>「休耕地の活用による高齢者の元気化と環境の保全」</p> <p>清須市近郊は大消費地名古屋に近く、以前は宮重大根や土田南瓜等、野菜の大供給地だった。しかし、現在は輸入野菜や農業の大規模化に押されて衰退してしまい、休耕地が目立つ。</p> <p>土田地区は、以前は農家80軒と言われていたが、現在も出荷している農家は数軒になり、大変さみしい限りである。</p> <p>そこで休耕地を家庭菜園として、貸し出してはどうか。</p> <p>定年になった元気高齢者が増えている。趣味と実益を兼ねて、無農薬のおいしい野菜作り運動を進めると環境保全にも役立ってよい。</p> <p>市の施策としては、貸し農園に水道を引き、小屋を設置して、野菜作りの指導を農家をお願いするとよいと思う。祖父母がお孫さんと一緒に野菜作りをすれば、子どもの成長にも役立つのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合戦略の基本目標③「シニア世代が元気でアクティブに暮らせるまちをつくる」の実現に向けて、御指摘の点も参考にさせていただきながら、今後、総合戦略の推進を図ってまいります。</li> </ul>